

アクセス

飛行機で移動する



JRで移動する



フェリーで移動する



車で移動する



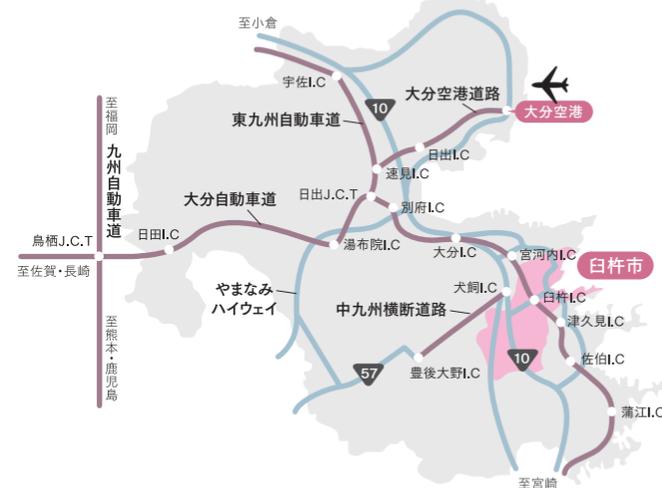
問合せ

臼杵市役所 地域力創生課
 ☎0972-63-1111(代表)
 ✉kyoudou@city.usuki.oita.jp

発行元 臼杵市役所 地域力創生課
 発行日 2023年3月



うすき暮らしナビ



ユネスコ食文化創造都市 臼杵



Hello!

はじめまして 臼杵市です



大分県の東南部に位置する臼杵市は豊後水道に面した臼杵湾を望み、歴史の風情薫る城下町のある臼杵市中心地と清らかな水源をもち、のどかな田畑の風景が広がる野津地域があり自然のめぐみと歴史や文化がやさしく溶け合う、しとやかで温もりのあるまち。

年間の平均気温15～17度と温暖でおだやかな気候のなか臼杵の人たちは、のびやかに暮らしています。



臼杵って どんなところ?



1

自然環境



**自然と町が、
ほどよい距離感のコンパクトシティ**
海と山、2つの自然と町が近く、わざわざ足を運ばなくても、豊かな自然が暮らしのすぐそばにあります。また臼杵市の中心地は生活に必要なものを買うスーパーやコンビニ、病院や学校などが、ほどよく近い場所にまとまった、コンパクトシティ。田舎の「のどかさ」と町の「便利さ」が、ちょうどよい感じにとけあった暮らしやすさが魅力です。

2

ユネスコ食文化創造都市

**実はレベルが高い！
世界が認めた臼杵の食文化**



豊かな自然に恵まれた臼杵では、1600年頃に始まったと言われる味噌や醤油、酒の発酵・醸造業や、江戸時代に「質素儉約」の知恵から生まれた郷土料理など、独自の食の歴史や文化が今も息づいています。さらに草木を発酵させた「完熟堆肥」を生産し、有機農業も推進しています。この取り組みは2021年11月に、国内で2例目の「ユネスコ食文化創造都市(食文化分野)ネットワーク」の加盟都市に認定されました。

3

子育て環境



**子育てや教育に「ちょうどいい」暮らしの規模感。
バックアップ体制も充実**

コミュニティの場として親子で気軽に利用できる「ちあぼーと」や子育て支援拠点など、慣れない環境での子育てをきめ細やかにサポート。また充実した遊具を備えた公園や、特色のある認可保育所や認定こども園、体験活動を重視した小学校など教育環境も充実。移住者や子育て世帯を対象にした補助金や制度もあり、行政や地域のみなさんがバックアップしてくれる環境です。

4

有機農業



**有機農業でつくった地元の
農産物が日々の食卓に**

完熟堆肥「うすき夢堆肥」などで土づくりを行い有機栽培された、市長認証ブランド「ほんまもん農産物」は、商店やスーパーで気軽に購入できたり、飲食店でも多く使用されています。また臼杵で育てられた「給食畑の野菜」は、市内の小中学校用として生産供給され、食育にも役立っています。自然のチカラを感じる濃厚な味わいの農産物は、臼杵だから出えるおいしさです。

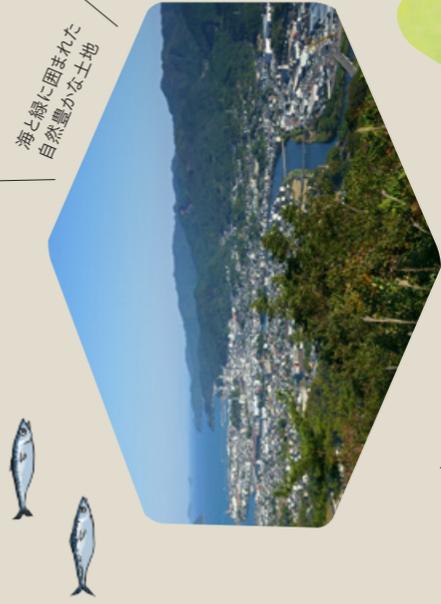
5

ひやくすた



**移住者が発起人、
食のニュースタンダードな朝市**

「ひやくすた」は地元のベテランから若手まで、様々な農家さんたちが「ほんまもん農産物」や加工品など持ち寄った朝市で、毎月第1日曜日に臼杵石仏公園で開催しています。愛情いっぱい育てた野菜を生産者さんから直接買える、作り手とお客さんのコミュニティの場にもなっています。一度訪れたらファンになるリピーターも多い人気のマーケットです。



海と緑に囲まれた自然豊かな土地



情緒あふれる町並み



子育てマップ

子育て拠点を生かす!

～小学校から高校編～



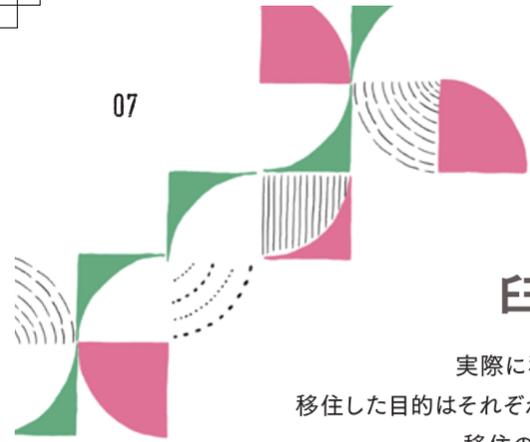
白杵市では、学校給食に「ほんまもん農産物」や「給食畑の野菜」と称した地元農家さんが育てた野菜を使用しています。中学校では、生徒会が主体となって学校林を守り育てる活動を行うなど、学校毎で独自の取り組みに注力しています。高校は海洋技術や生産について学べる海洋科学高校や、普通科の白杵高校があり、多方面から子どもたちの健やかな成長を見守っています。



配膳室の看板にほっとさんが!



教育施設一覧はコチラ



Living in Usuki

臼杵市に移住して暮らす

実際に移住をし、臼杵暮らしを楽しんでいる2組をご紹介します。
移住した目的はそれぞれですが、臼杵がもつ魅力に惹かれ、自分たちらしい生活を営んでいます。
移住のきっかけや移住後の暮らしについて、お話を伺いました。

橋本さんご夫妻



出身地
夫:橋本 涼太さん(35歳)…神奈川県出身
妻:藤乃さん(36歳)……沖縄県出身

移住日
2022年4月

移住元
福岡県

釣り好きな夫婦が見つけた、自然体で暮らせる町

橋本ご夫妻の共通の趣味は「釣り」。大好きな釣りがいつでも楽しめ、心身ともに豊かな暮らしを送りたいと移住を考え始め、いろんな場所を釣りをしながらめぐったそうです。「でもなんかどこもじっくりこなくて。そんななか臼杵の雰囲気や人の温かさが、自分たちにはフィットしたんです」と移住を決意。

「実際に暮らしてみると、人との距離がほどよく近く、素敵な町だと思います。いろんな発見がありますが、驚いたのはご近所さんから野菜などの“おすそ分け”をいただくこと。都市伝説だと思っていたんですけど、本当でした(笑)。先日カマスがたくさん釣れたので、ご近所におすそ分けしたら最終的にマダイをいただきました」と臼杵暮らしの楽しさを実感しているようです。

「福岡に残るか、移住するか悩んだこともありましたが、人とのご縁や直感的な魅力を大切に、臼杵を選んでよかった」とおふたり。人や自然と、穏やかに向き合う暮らしを満喫しているようです。

橋本さんご夫妻のとある一日
※休日編

- 4:30すぎ ふたりとも起床
- 5:30 目的の釣り場へ移動
- 6:00～ 釣り開始!
釣れたら2時間程度で終了
- 8:00 帰宅
朝獲れた魚をさばいて、刺身に朝食(贅沢!)
- 9:00
12:00頃まで 仮眠
- 13:00
18:00 ふたりでお出かけ
だいたい釣り具屋さんへ行くことが多い。
- 19:00 夕食
釣れた日は、夕食も釣った魚がおかずになる
- 20:00～ 自由タイム
- 23:00 就寝



涼太さんの影響を受け、釣りを始めた藤乃さんも今では旦那さん顔負けの腕前とか

矢野さんファミリー



子育てを見据えて、自然も人も距離の近い故郷へUターン

矢野さんご夫妻は、お互い美容師として東京で働いていた際に知り合い、結婚。東京で9年、福岡で3年ほど暮らしたのち、2019年にUターンしました。「都会で暮らしているときから、いつかまた、生まれ育った臼杵に帰って暮らしたいとずっと思っていたんですが、子どもが生まれてからはよりその気持ちが強くなりました」と亨さん。その一方で、理子さんは都会が好きタイプ。正反対のおふたりが移住を決めた一番の理由は「子育て環境」のためだったそうです。「子どもたちがのびのび暮らせて、両方の実家にも近い場所がいいと思ったんです。でも最終的には主人の強い“地元愛”に、私が折れましたね(笑)」と理子さん。

移住して3年後、2022年には補助金なども活用し中古住宅を購入。現在は、お子さん2人を保育園に預け、亨さんは建築資材の製造業、理子さんはパートで美容師として働いています。「自然も多いし保育園や小学校もアットホームな感じでいいですね。子どもたちだけでなく自分たちも、のびのび過ごせるようになったかも」と、家族4人、地域に根付いた暮らしを楽しんでいるようです。

出身地
夫:矢野 亨さん(35歳)……臼杵市出身
妻:理子^{あやこ}さん(33歳)……鹿児島県出身

移住日
2020年10月

家族構成
しえみちゃん(6歳)、陽彩くん(2歳)
4人家族

矢野さんファミリーのとある一日



賃貸住宅から戸建てへ引っ越しし、しえみちゃんも陽彩くんもよりのびのびと元気いっぱい過ごしている

地域との結びつきで暮らしが充実 地域振興協議会の取り組み

旧小学校区ごとに地域組織を作っています。その地域の特性や風土を残し、コミュニティでの暮らしを楽しみながら、将来的に地域活動を持続していくための取り組みです。

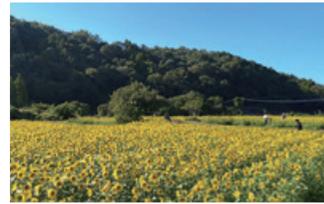
みなみのつ | 1 | 南野津

地区公民館を中心に地域がまとまり、秋には、子ども達の舞台発表などを行う「寺子屋祭り」を開催しています。地域の景観を良くするための植花活動などにも力を入れています。



かわのぼり | 2 | 川登

地域伝統の「紙すき体験教室」で子ども達がオリジナルの「卒業証書づくり」をしています。秋には25万本のひまわりが咲き誇る「ひまわりフェスタ」を開催しています。



にしかみの | 3 | 西神野

市街地から車で30分ほどの距離にあり、緑豊かな山々に囲まれ、子育て世帯にも人気の川遊びスポットがあり、夏には、「久保ん谷湧水祭り」や「風流杖踊り」などの行事も催されています。



かみきた | 10 | 上北

地域と小学校が連携した田植えや稲刈りの体験イベントが開催されています。夏には、「夏祭り」が開催され、スーパーボールすくいや輪投げなど、なつかしい遊びが体験できます。



いちほま | 11 | 市浜

民間の賃貸物件も多く、市内で最多の人口となっている地域です。「ふれあい広場」というお祭りを開催し、地域住民による屋台の出店なども行われています。



しもきた | 12 | 下北

消防署や警察、大学などと連携して、楽しく体験しながら防災について学べる「安心安全フェスタ」など、多世代交流を目的としたイベントや取り組みが行われています。



たの | 4 | 田野

地区公民館を中心に地域がまとまり、秋には、伝統行事などを行う「ふるさと祭り」を開催しています。農産物直販所「いのこ」を運営しており、地元の農家さんが新鮮な野菜を提供しています。



とのうえ | 5 | 戸上

大分市と隣接しており、お出かけしやすい地域です。夏には、ステージイベントや出店で賑わう「ふれあい祭り」が開催される他、地域伝統の火焚き行事「柱松」では、迫力ある光景が見られます。



みやこまつ | 6 | 都松

健康推進に力を入れており、健康に暮らし続けることを目的として栽培や加工を始めたエゴマ油や黒にんにくが特産品となり、ふるさと納税でも人気の返礼品として注目されています。



なんぶ | 13 | 南部

二王座歴史の道や武家屋敷など、歴史深い建造物が多く残る地域です。地域が主体となったまち歩きイベントなど、歴史ある街並みを活かした取り組みが展開されています。



ちゅうおう | 14 | 中央

キリシタン大名として有名な大友宗麟の居城であった臼杵城の城跡があり、桜並木があり、商店や飲食店が集まっています。「食」を起点にしたテイクアウトイベント等が開催されています。



さしう | 15 | 佐志生

海水浴や釣りなどのマリンスポーツが楽しめる佐志生海岸があり、「按針朝市」という新鮮な海産物を販売するイベントを開催しています。



のつ | 7 | 野津

バス待合やキッズスペース、無料充電スポットなど、世代を問わず利用しやすい「野津市民交流センターゆるる」があり、山賊キャンプ、スポーツ玉入れなどのイベントに力を入れています。



みなみづる | 8 | 南津留

市内唯一の小規模特認校(南小学校・南中学校)があり、少人数での良さを活かしたきめ細かな教育が行われています。夏には、地域が主催する盆踊り大会や花火大会などが開催されています。



しもみなみ | 9 | 下南

高速道路のICがあり、大型スーパーやディスカウントショップ、ホームセンターなど買い物に便利な地域です。地域と小学校が連携して、田植えや芋ほりなどの体験イベントが行われています。



したのえ | 16 | 下ノ江

海に面した地域であり、自然豊かな景観を活かしたまち歩きイベントや、100年以上の歴史を持つ駅舎を活用した「立ち飲み食堂」を開催しています。



あまべ | 17 | 海辺

海に面した地域であり、大分県で唯一の海洋を専門とした高校があります。地域と小学校が連携して地引網体験を行うなど、地域の特性を活かした体験教育イベントが開催されています。



うわうら ふかえ | 18 | 上浦・深江

廃校を利用したアワビの養殖や地引網など、漁村ならではのアイデアを活かしたイベントが行われています。アジやブリなどが釣れるスポットがあり、市内外から多くの釣り人が集まっています。



移住までの 8つのStep

臼杵への移住についてのながれを
8つのステップにまとめてご紹介します。

STEP
1



移住する「目的」を考えよう

まず今の暮らしではなく、なぜ別の場所で暮らしたいのか?という目的を考えてみましょう。「子どもが小学生になるまでに、自然豊かな場所で育てたい」とか「夫婦で農業がしたい」、「1年後、起業したい」など、「誰と、いつごろ、どんなふうに暮らしたい」かを具体的に目的をイメージして明確にしておくことが大切。目的をじっくりと掘り下げて考えていくと、住まいや仕事なども探しやすくなります。

STEP
2



家族会議で話し合おう

家族と一緒に移住を考えている場合、家族全員が前向きに移住をすすめていくためにも、じっくりと移住についての目的やイメージを相談し話し合しましょう。お子さんがいる場合や、自分たちの老後のことなど5年、10年先の長期的なライフプランも考え、一緒に移住する人の意見も取り入れながら、移住のイメージを擦り合わせる事が大切です。

STEP
3



情報収集をしよう

目的や移住後の暮らしのイメージがまとまったら、臼杵の情報をインターネットや移住相談会などで集めていきましょう。臼杵市のホームページをはじめ、移住や定住を考えている人のための情報サイト「うすき暮らしナビ」には、移住に役立つ様々な情報を紹介しています。具体的に移住や定住についての相談や質問ができる「オンライン移住相談(要予約)」や、「オンライン移住イベント」なども行っているので気軽にお問い合わせください。



▲リモート移住相談の様子



うすき暮らしナビ



▲移住フェアの様子

STEP
4



「おためし移住」で暮らしを体験してみよう

情報を集めても「実際に暮らしてみたらどうなんだろう?」となかなか一歩が踏み出せない、という方のために、臼杵暮らしを体験できるプログラムがあります。臼杵へ移住を希望している方を対象に一定期間滞在し、実際に臼杵での生活を体感できる「移住体験ハウス」や、農家民泊のスタイルで地元の人からリアルな情報を知ることができる「移住モニターツアー」も年に数回開催しています。臼杵ライフを身をもって体験することで、移住後の生活がよりイメージしやすくなります。

STEP
5



仕事を探そう

いよいよ移住を決めたら、暮らしの基盤となる「仕事探し」をしましょう。臼杵市内をはじめ、周辺地域の大大市や豊後大野市、津久見市、佐伯市も通勤圏内なので、検討してみるのもよいかもしれません。仕事探しは「うすき暮らしナビ」や「おおいた産業人財センター」のホームページなどでもチェックできます。また、臼杵で就農や創業を考えている方を対象にした支援制度も用意されています。これまでのキャリアを生かすのか、まったく違う職種を希望するのか、生活スタイルに合うものはあるのかなども検討しながら、しっかり事前に確認しておきましょう。



うすき暮らしナビ



おおいた産業人財センター

STEP
6



住まいを探そう

移住でとても大切なのが「住まい」の確保です。集合か戸建なのか、賃貸か売買かなど、条件とともに住まいを探す方法もいろいろ。臼杵市内にある空き家や空き地の情報がわかる「空き家バンク」のほか、公営住宅、地元の民間不動産会社などでも思わぬ物件に出合えるかもしれません。ホームページなどでまずは確認してみましょう。移住者を対象にした支援制度や補助金制度などもあるので、気軽に臼杵市役所地域力創生課にお問合せください。



臼杵市HP「空き家バンク・空き地バンク」

STEP
7



臼杵暮らしがスタート!

引っ越しが済んだらいよいよ臼杵での新たな生活が始まります。人と人の距離が近い臼杵暮らし。少しずつ打ち解けていくためにも、地域の区長さんなどを頼りながら、徐々に地域に馴染んでいきましょう。あわせて住民票などの登録、保育園、学校の手続きなどの手続き関係も忘れずに進めていきましょう。



▲市役所で手続きを行おう

STEP
8



地域になじんでいこう

引っ越しが終わり、少し落ち着いてきたら、興味のあるコミュニティに参加してみるのもよいでしょう。臼杵で暮らす人の出会いの場でもある「移住者交流会」や、子ども会やスポーツ団、「地域振興協議会」が行っている活動やイベントなどにも参加していくのもおすすめです。



▲うすきファーマーズマーケットひやくすたの様子



よく聞かれる質問総まとめ 臼杵移住Q&A

移住についてよく聞かれる項目を挙げてみました。
臼杵市ならではの取り組みや支援もあるので、ぜひチェックしてみてください！

Q1. 移住の相談窓口について 教えてください。

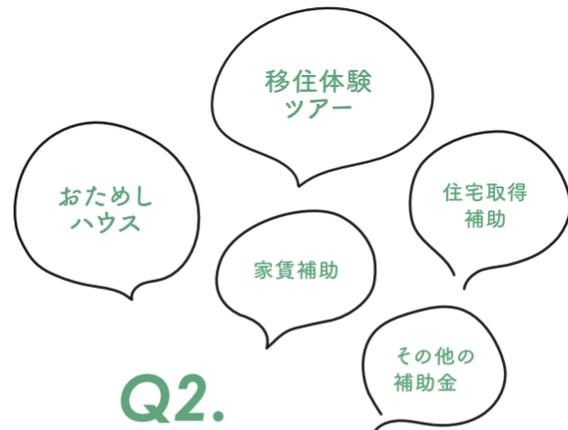
臼杵市役所の地域力創生課内の移住相談担当者が臼杵市への移住の総合案内としてご相談をお受けします。また、移住・定住サポーターによる生活情報や相談支援を受けることもできます。



▲移住フェアも開催しています

Q3. 住まいを探すには どうしたらよいですか？

民間の不動産会社をご利用いただくほか、市が運営する「臼杵市空き家バンク制度」を活用できます。市内にある空き家の所有者から登録の申込みを受け、登録された物件情報を市HPや市役所窓口などで公開し、マッチングを支援する制度です。詳細は地域力創生課へお問合せください。



Q2. 移住にあたり利用できる 支援制度などはありますか？

移住を考えている方への「移住体験ツアー」をはじめ、移住体験ができる施設「おためしハウス」も整備しています。住宅取得補助や家賃補助などの各種補助制度や、市外から移住される方が臼杵市空き家バンクで空き家を購入（賃貸）する場合の改修費用や仲介手数料などに対し補助金を交付しています。

移住支援制度 

 臼杵市空き家バンク
空き家情報一覧

Q4. 公営住宅について 教えてください。

大分県が運営
県営住宅

臼杵市が運営
市営住宅

公営住宅には県が運営する県営住宅と臼杵市が運営する市営住宅、特定公共賃貸住宅があります。募集があるときは市報や大分県住宅供給公社HPに空き住宅名、空き戸数、申込期間などを掲載し応募者を募ります。公営住宅は入居条件がありますので、詳細は臼杵市営住宅管理センターへお問合せください。(TEL.0972-64-0633)

Q6. 農業を始めるには どうしたらよいですか？

具体的な就農に関する相談窓口を設置しています。有機農産物や地元の振興作物を対象にした研修制度も用意しています。オーナー農園として自給用の野菜類を作ることができる農場もあります。農業は魅力とやりがいのある産業である一方で、イメージと違う事や困難も多く、経営を成功させるには、強い意欲と情熱が必要となります。詳しくは農林振興課へご相談ください。



Q5. 就職するための仕事を 紹介してくれる所はありますか？

ふるさとハローワークで相談・紹介をしています。「うすき暮らしナビ」でもハローワークの求人情報を検索することが出来ます。臼杵以外にも臼杵市周辺の大分市・豊後大野市・津久見市・佐伯市へ通勤する方も多くいらっしゃいます。求人情報に関する詳細はハローワークへお問合せください。また、東京・大阪・福岡で出張就職個別相談会も開催しています。詳しくは大分県産業人財センターへお問合せください(TEL.075-533-2631)。



Q7. 新たに起業したいのですが、 相談窓口はありますか？

起業については商工会議所、商工会で相談を受け付けています。支援制度についての詳細は産業観光課までお問合せください。

Q8. 自家用車は必要ですか？

＼ なんと便利！ ／


市内には、スーパーマーケットや郵便局、金融機関などが数ヶ所あります。市街地には市営のコミュニティバスや民間バス、タクシーなどの移動手段がありますが、時間や運行数に限りがありますので、自家用車を所有すると利便性が増すと思われます。